

昭和七年六月廿七日
建設資材特配
七月一日は
...

社長 相澤	事務	監査役 ...	支配人 ...	技師長 ...	掛長 ...	掛員	昭和七年六月廿七日起案
	常務						昭和七年六月廿七日決裁
總第五五號							

建設資材特配付陳情件

小泉線電化並大川能若間建設工事施行に伴い
資材特配ニ関し別紙通り企畫院總裁宛陳
情書提出可然哉

別紙添付書致し

浦書堤田技師中記中
(本村某他)



昭和十七年七月十日

東武鐵道株式會社
取締役會長 正田貞一郎

企畫院總裁 鈴木貞一殿

謹啓 時下愈々御清榮の段奉慶賀候
陳者弊社沿線群馬縣太田は大正六年以來中島飛行機製作
所の所在地に有之候處支那事變勃發後に於ける同製作所
の發展膨脹は眞に目覺しきものあり遂に客年五月太田を
距る八軒余の西小泉に新に小泉工場を増設せらるゝに至
り候。

西小泉は弊社館林・小泉間線路沿ひに位し居り候得共太
田との直通連絡の便なかりしたため弊社は昨年六月太田・
東小泉間線路を急設し以て太田・小泉の兩工場に出入す
る工員の圓滑なる輸送に最善の努力を拂ひ居り候。然
れども大東亞共榮圈の確立に伴ふ中島飛行機製作所の活
躍は日に旺盛を加へ工員の輸送亦日夜激甚を來し候ため
輸送力強化の之に伴はざるあるを痛感し曩に小泉線の電
化及び西小泉・熊谷間線路の建設を鐵道省に申請致居り
候處過般夫々御認許相成候に就ては電化工事は十七年中
に新線工事は利根川橋梁部分を除き十八年中に完成致度
き決意の下に極力施工を速進し以て中島飛行機製作所の
國家的使命に協力仕り度折角準備中に有之、所要資材も

出來得る限り弊社營業線の一部を撤却して充當する計畫
に候も地形其他の關係上自家調辦不能のもの大體別紙の
通りに有之候條時節柄洵に恐縮に奉存候得共之れが配給
に關し特別の御詮議賜り度奉悃願候

敬具

熊谷泉建設用準備資材調

東武鐵道株式會社

備考 年度別ハ總テ現場ニ施設スル時ヲ以テ区分セリ依テ製作ニ要スル期間ハ繰上セ準備スルノ要アリ